



Change! 2022 ニュース No. 6

Change! 2022 推進委員会 2019. 12. 15 発行

▼ 会員増強に思う

「不易流行」

Change! 2022 推進委員シンポジウム担当

伊藤 幾夫 (東京多摩みなみ)



「不易流行(ふえきりゅうこう)」とは、ご存知の方も多いたと思いますが、江戸時代中期の俳人として、後世に最も名を残した松尾芭蕉(1644～1694)が説いた俳諧理念です。つまり、「不易」とは変えてはいけぬもの、「流行」とは時代、状況に応じて変化

していかなければならないもの、新鮮さとも言えます。300年以上も経った現在でも、この理念のもと俳句は生き生きとしています。

ワイズはどうでしょうか。まもなく100年を迎えます。私たちが立ち上げた「Change! 2022」の運動はまさに、「不易流行」の理念が参考になると思います。「Change! 2022」を単なるスローガンと見てはいけぬと思います。「Change!」は、直訳すると「変えろ!」「変える!」「変わる!」ですが、私はこの「Change! 2022」が立ち上げられたのは、現在のワイズの状態は、まさに「後がない」状況まで来ていると、多くのワイズが認識したからだと考えます。ですから、「Change!」の意味は「変われ!」という強い意志を共有しなければならないと考えます。

私たちがこのまま、手をこまねいていけば、芭蕉の句「夏草やつわものどもが夢の跡」(源義経が自害されたとされる岩手県平泉での句。今は夏草が生い茂るだけのこの地は、かつて英雄たちが夢に破れた跡なのだな、という意味)が現実になってしまうかもしれません。

私たちは、今、立ち上がり、「変えろ!」という多くのワイズの声を行動に移すときです。

2020年2月1日(土)には、シンポジウムを開催します(詳細は4ページに別掲)。このシンポジウムで私たちは「Change! 2022」のアクションプランを提言します。

まさに、「不易」は何か、「流行」は何かを具体的にみなさんに提示し、ディスカッションをしたいと考えています。

「不易=変えてはいけぬもの」は、ワイズメンズクラブ国際協会の国際憲法および東日本区の定款に示された綱領に書かれていることがらであることは言うまでもありません。中でも「ワイズメンズクラブはYMCAのサービスクラブとして活動する」は、ワイズのアイデンティティの筆頭と言えると思います。

さて、「Change! 2022」の最大の挑戦は「流行=変えていくもの」とは何かを提案し、議論し、共有し、実践していくことだろうと思います。シンポジウムで大いに議論しましょう!

芭蕉の辞世の句「旅に病んで夢は枯野をかけ巡る」。これは、旅先で死の床に伏していても、私は夢の中で見知らぬ枯野を駆け回っているという意味だと言われます。旅を愛し俳句を愛した芭蕉の生き様を詠んだ句である。旅=奉仕、俳句=ワイズ、芭蕉=私たち、と読み替えてみたいと思います。

《 伊藤幾夫さんのプロフィール 》

- 1950年2月、神奈川県厚木市に生まれる
- 1988年 東京クラブ入会
- 1990年 東京YMCA入会
- 1991年 東京まちだクラブチャーターメンバー
- 1996年 東京コスモスクラブチャーターメンバー
- 2004～2005年 東新部部長(エルマークロウ賞受賞)
- 2014～2017年 東日本区LT委員長
- 2016年 東京多摩みなみチャーターメンバー
- 2017～2018年 東新部部長(エルマークロウ賞受賞)
- 2015年～ 東京YMCA 高等学院講師
- 2017年～ 東京YMCA 評議員

▼ 新入会員からのメッセージ

▽ 大原真之介さんからのメッセージ ▽

東京江東クラブ会員



大原真之介と申します。
東京 YMCA の元スタッフ組
でございます。
当時キャンプネーム (YMCA
ネーム) は“しんちゃん”と呼
ばれておりました！
僭越ながら、冒頭私の約 20
年間の略歴をご報告させて
いただきます・・・

健やかに高校まで卒業！ → 東京 YMCA 社会体育
専門学校を卒業！！ → 江東YMCA幼稚園体操指導
及び、江東センター野外・サッカースタッフとし
て 2003 年 3 月まで 5 年間勤務 (退職) → その後 5
年間の充電期間 (ワールドツアー笑) を経て、江東
YMCA に復帰！！ 以後 11 年間勤務 (2018 年一
身上の都合により退職)。

**そして 2019 年 5 月 東京江東ワイズメンズ
クラブに入会！！** (させていただきました)。

人それぞれに、自己表現活動 (欲求) をしていく
ことや、社会活動をしていくこと、楽しみ、へのア
プローチ方法は異なりますが、私にとって、その多
くのことを実現できると確信した“場”が東京江東
ワイズメンズクラブでした。そして、まだ見ぬ、全
国のワイズの仲間とお会いできることや、時勢に合
わせ共に活動ができること、新たに志を一にできる
仲間を探し、増やし求め繋げることに尽力していく
ことを願うものです。

若かりしころ、YMCA を離れ、ギターを片手にワ
ールドツアーに出かけていた時代がございました
(上記略歴空白の 5 年間)。自転車でユーラシア約
5000 km を走り抜いた日々、明日たどり着く街の風景、
旅をしなければ絶対に出会うことなどなかった人た
ちを想像しながら、想像力に塗り絵をしていくよう
な毎日でした。それが私にとっての原風景かもしれ
ません。

これからも下手くそなギターを持って何処へでも
いきます！ 笑顔とメロディーをお届けいたしま
す！！ どうぞお声掛けくださいませ。そんな風変わ
りなワイズメンです。

▼ 各部エクステンション委員長より

関東東部エクステンション報告

金丸 満雄 (東京ひがし)



関東東部 EMC 委員会では、
3 年前より東京ベイサイドク
ラブに続く新クラブ設立 (エ
クステンション) の協議を継
承・継続してきました。

2018-2019 年度の委員会
でエクステンション候補地を協
議・検討し、千葉県内に過去、
柏クラブと船橋クラブが存在

していたが現在両クラブは消滅。両地区の再設立を
希望し関係者に打診したところ、柏は難しく断念し、
船橋地区に的を絞ることとしました。

船橋には地域デポとして、元メンバーの数人と千
葉クラブメンバーも加わり、市内小中学校をまわり
障害ある人の疑似体験 (車いす) ボランティア活動
を行っております。設立準備にあたって、千葉クラ
ブ並びに千葉 YMCA の協力をいただき、新クラブ設
立準備委員会を 11 名体制で 2018 年 12 月に立上げ
ました。

委員長に千葉クラブ・長尾昌男元部長を選出し、
月 1 回の開催で 2019 年 6 月まで 7 回の委員会を開
催。委員会では、①クラブ名を (仮称) 千葉ウエスト
ワイズメンズクラブに決定 ②入会勧誘用パンフレ
ットの作成 ③入会勧誘候補者リストの作成 ④入会
候補者を招いて、ワイズ理解・YMCA 理解のプレゼ
ンテーション等々を行ってきました。

2019 年 8 月からは、設立会員となる方々が中心と
なる「設立準備会」とし、今後の進め方を協議し、設
立に向け準備委員会と合同会合を開催することとし
ました。11 月 24 日行われた合同会合で、これから
の予定として、①2020 年 3 月に設立総会 ②4 月に
仮例会 ③5 月にチャーターナイト等、日程予定が発
表されました。現在 7 名 (移籍予定者 2 名含む) の
メンバーが集まり、更なる勧誘で今年度中の設立を
目指してい
ます。

【写真=設立
準備委員会の
様子(青木一
芳氏提供)】



▼ 新入会員紹介者からのメッセージ

この情熱を見よ！

Change! 2022 編集委員 藤井 寛敏

東京たんぽぽYサービスクラブの越智京子会長が2名の新会員を入会に導いたことを東日本区事務所および同クラブのブリテンで知り、体調不良の中でそれを成し遂げた情熱を皆さんに披露したく、彼女に原稿依頼のメールを送りました。

1週間しても返事してもらえませんでしたので、同クラブの小原史奈子さんに状況を問い合わせましたところ、体調が悪く、対応が難しい旨連絡をもらいました。了解して越智さんにお詫びと一日も早い回復を祈る旨メールを返信しました。その2・3日後、下記のメールをいただきました。ご本人のご了解を得て以下に要約を掲載させていただきました。

————— ▽▽▽ —————

東京江東クラブ 藤井寛敏 様

何時もワイズダムへのお支えに感謝申し上げます。抗癌剤の副作用が厳しく、胃潰瘍での吐血や胸椎への自然骨折、抗癌剤治療にて、目への支障で眼科にてパソコンの使用がドクターストップとなり、直ぐにご連絡できなかつた事、申し訳ありません。1月に視力回復の手術を受けますが、癌の治療は続きますので、どこまで回復できるかは分かりません。

7年前から5名のメンバーでの活動になり、「たんぽぽクラブ」を立ち上げた私にとっては焦りが続いていました。ただ、YMCAの事業であるlibyを支援する為に立ち上げたクラブですから、少数のメンバーでもチャリティーコンサートの継続や、CS事業として歌の広場が継続できている事は自負したいと思っています。

しかし、このメンバーでは一人一人の活動が負担になるばかり。その為に一人でもメンバーを増やすのが先決と思い、昨年度と今年度、2年続けて会長を受けて、近くにいる方々に納涼例会や、新年会、毎月一回の童謡・唱歌を歌う会、YMCAクリスマス会に参加など、楽しく過ごせる時の例会にお誘いしながら、少しずつ「たんぽぽ」に馴染んで頂いた事で入会に繋げていけたと思っています。

入会までは、時間がある時に食事をしながらワイズの活動等を少しずつ聞いてもらい、焦らず、「たんぽぽクラブ」での活動を手伝って頂けるようお願いしてきました。ご本人が納得して入会をして頂

るまで待ちました。ただ、入会してもメンバーとして諸活動役職を受けてもらうには、時間がかかると思います。時間をとりながら一緒に活動を覚えて頂けるようにしていきたいと思っています。

新会員獲得はクラブ活動の目的をはっきり示すことが大切だと思います。「たんぽぽクラブ」をチャーターした時も、活動内容と目的をはっきり示したことで、目的に納得した方が入会を決められたと思っています。

クラブ例会やYMCA活動等は、ケアマネージャーさんや家族に支えられて送迎を受けながら出席をしています。

お見舞いのメッセージを頂き心から感謝申し上げます。

このメッセージは、私の言葉をケアマネージャーさんに伝えてメールにしてもらいました。

朝夕ひときわ冷え込むようになりました。どうぞ御自愛頂きます様、お祈り申し上げます。

2019年11月21日

東京たんぽぽYサービスクラブ 越智京子



【2007年6月3日、ホテルサンハトヤ(伊東)で行われた第10回東日本区大会で、高田一彦理事(横浜)から理事引継ぎを受け、理事メダルを着装した越智京子さんの晴れ姿(写真提供は大川貴久氏・熱海クラブ)】

2019-2020 東 新 部

フレッシュワイズセミナーのご案内

日時：2020年2月15日(土) 13:30~16:30

会場：東京YMCA山手センター 101号室

およそ入会3年未満の新入会員を対象にしたセミナーです。ふるってご参加ください。

問合せ・申し込み：muranoshi@lily.ocn.com

東新部会員増強事業主査 村野繁(東京世田谷)

▼ 各部エクステンション委員会だより

湘南・沖縄部「会員増強計画」
部評議会で可決承認！

湘南・沖縄部エクステンション委員会

委員長 辻 剛（横浜つづき）

第2回湘南・沖縄部評議会が2019年11月30日（土）、横浜中央YMCAにおいて開催され、「湘南・沖縄部会員増強計画（案）」が承認されましたので、以下に報告いたします。

1. 「湘南・沖縄部 会員増強計画」について

(1) 計画の概要

①本計画は、東日本区の「Change! 2022」プロジェクトに対応するものとして、第2回部評議会（2019.11.30）に議案提案され、可決承認された。

②達成目標：湘南・沖縄部の会員数を2022年12月末までに、現在103名を150名に増強するものとする。（純増47名／増加率146%）

③内訳：

・現在、湘南・沖縄部に所属している9クラブは、2019年7月1日現在の会員数103名を、2022年12月31日までに139名に増強する。（純増36名／増加率135%、各クラブの目標会員数は、2019.9.20付東日本区アンケート結果「クラブ別2022年末目標会員数」に基づく。）

・150名と139名の差11名は、クラブ新設によって対応するものとする。（新設クラブ数のイメージは1～2クラブ。）

2. 部内の取り組み体制

(1) クラブメンバーの増強については、基本的には各クラブ中心で取り組むが、必要な場合はエクステンション委員会が最大限の協力をおこなう。

(2) クラブの新設については、第1義的にはエクステンション委員会が取り組むが、必要な場合は各クラブおよび横浜YMCA等の協力も得て対応する。

(3) 以上ご報告しましたが、湘南・沖縄部としましては、やっと12月1日から「会員増強計画」が緒に就いたばかりです。今後は東日本区の皆さま、特にChange! 2022推進委員会の皆さまにはご指導とご協力を仰ぎながら、目標達成に取り組んでまいりますので、よろしくお願ひいたします。

▼ 新入会員をご紹介します

会員増強事業主任 札埜 慶一（熱海）

11月には、下記の方々が入会されました。（敬称略）

| No. | 入会者（クラブ名） | 紹介者 |
|-----|-------------|--------|
| 1. | 有里 公德（東京北） | 再入会 |
| 2. | 羽田 眞治（東京北） | 再入会 |
| 3. | 加藤 真裕美（伊東） | 浦頭 薫 |
| 4. | 大井 雄介（宇都宮） | 大久保 知宏 |
| 5. | 座間 裕二（宇都宮） | 大久保 知宏 |
| 6. | 植野 昌孝（沼津） | 大村 貴之 |
| 7. | 小笠原 均（石巻広域） | 越智 京子 |
| 8. | 生川 美樹（川越） | 利根川 恵子 |



伊東クラブブリテンから

▼加藤真裕美さんの自己紹介

YMCA 青少年キャンプ教室での救護ボランティアに誘われ、ワイズを知りました。メンバーの明るさ、優しさが入会のきっかけです。

2019-2020 東日本区 Change! 2022
シンポジウムのご案内

日時：2020年2月1日（土）13:00～16:30

会場：東京YMCA 社会体育・保育専門学校 2F

プログラム

- | | |
|-----------------------|-------|
| 1. 開会あいさつ・趣旨説明 | 栗本治郎 |
| 2. あいさつ | 山田敏明 |
| 3. フェイスブック等 SNS の活用実践 | |
| ① 初歩メソッドについて | 渡辺大輔 |
| ② SNS 活用の入会例 | 札埜慶一 |
| 4. 発題 | |
| ① アクションプラン | 栗本治郎 |
| ② 16名が36名へ、会員倍増 | 野々垣健五 |
| ③ 新クラブ設立の動向 | 長尾昌男 |
| 5. グループディスカッション | |
| 6. Change! 2022 宣言 | |
| 7. まとめ・閉会あいさつ | 板村哲也 |
- 終了後、YMCAホールで懇親会を開催（会費2000円）

問合せ・申し込み：大川貴久（熱海）まで

qxq1dsmk3@aods.jp

主催：東日本区 Change! 2022 推進委員会

共催：東日本区 EMC 事業委員会